

(別記様式1)

放射線安全管理功労者推薦状

1. 氏名		功労 表彰	
2. 生年月日 (西暦)		〇〇〇〇 年 〇月 〇日 (〇〇才) (男・女)	
3. 連絡先		<input type="checkbox"/> 勤務先 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅 (いずれか選択) E-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇. 〇〇. 〇	
4. 現住所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都 〇〇 〇〇 Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)	
5. 勤務先	(1) 名称	こくりつだいがくほうじん 〇 〇 だいがく 国立大学法人〇〇大学	
	(2) 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都 〇〇 〇〇 Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)	
	(3) 業務内容	放射性同位元素を使用する研究、教育	
6. 職務上の地位		教授	
7. 放射線取扱主任者免状		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	第1種・第2種 免状番号 第〇〇〇〇号
8. 候補者の履歴 (注1)		平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 助手 平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 准教授 平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 教授	
9. 功績 (注2)		放射線安全管理功労者のイに該当する。 国立大学法人〇〇大学において放射線安全管理業務に長年携わり尽力した。 また、学内において長年に亘り放射線安全教育に貢献した。 詳細は別紙のとおり。	
10. 賞罰 (注3)		受賞 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	〇〇学会功労賞 欠格事由 (①~④) に該当しない <input checked="" type="checkbox"/> (該当しない場合にチェック)
11. 本件に関する連絡先と担当者名 (注4)	連絡先	国立大学法人〇〇大学	
	ふりがな担当者名	あんぜん かんり 安全 管理	Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

賞状及び楯の正確を期するため、正しく記載して下さい。

功績の詳細は別紙に記載し、補足資料として添付してください。記載方法については、別紙の記載例を参考にして下さい。

注1. 放射線取扱主任者業務履歴等

放射線取扱主任者業務履歴			
選任年月日	～ 解任年月日	左記の年数	事業所名（許可・届出番号）
平成10年4月1日	～ 平成21年3月31日	10年	△△大学■学部（使第〇〇号）
平成21年4月1日	～ 現在	16年2ヶ月	△△大学▲学部（使第〇〇号）

安全管理業務履歴				
安全管理業務に就任した日	～ 業務を離れた日	左記の年数	事業所名（許可・届出番号）	業務の内容（具体的に）
平成元年4月1日	～ 平成10年3月31日	8年	△△大学■学部（使第〇〇号）	安全管理業務

国、地方自治体等の活動				
項目	就任期間	左記の年数	役職等	活動の内容
例) 原子力規制庁放射線委員会	令和2年4月1日～令和4年5月31日	2年2月	常任委員	放射線安全に係る検討

学会等の活動				
項目	就任期間	左記の年数	役職等	活動の内容
例) 原子力防護学会	令和2年8月1日～令和6年7月31日	4年	会長	原子力防護に係る検討

注2. 放射線安全管理功労・環境放射線対策功労者審査要領の2.（1）イ、ロに該当するかを明らかにし、その内容を簡単かつ明瞭に記載すること。なお、功績の詳細は具体的に別紙へ記載す

（候補者の功績を示す詳細な関係資料、新聞記事等の写し等）を添付すること  
放射線安全、放射線防護等に係る論文等がある場合はここに記載する（筆頭著

注3. 候補者が過去において表彰を受けたことがある場合には、受賞名称、受賞年月

されたかを記載すること。

欠格事由は次の通り。

- ①この顕彰要綱により、既に同一の事績で表彰を受けている者
- ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで及びその執行を受けることがなくなるまでの者
- ③所属組織での懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ④核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律、原子力災害対策特別措置法、放射性同位元素等の規制に関する法律、放射線を発散させて人の生命等に危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律に違反し、不利益処分又は罰則を課された者

⑤①～④に定める者のほか、表彰委員会が表彰することが適当でないと認められる者

注4. 候補者の業績についての問い合わせに対して確実に受継及び応答のできる者及びその連絡先を記載すること。

注5. 本推薦状にご記入頂いた個人情報につきましては、審査委員会での功労者の選定等、本表彰の実施に関する目的に限り使用致します。

**安全管理業務履歴は、放射線取扱主任者業務以外の安全管理業務に携わった履歴を記載して下さい。**

備考. この用紙は日本産業規格A4を用い、1枚におさめること。  
（この用紙は、主要な功績につき簡潔に記載することとし、功績の詳細は別紙に記載すること）

## 功績を示す補足資料の記載例

### 1. 安全管理実務に関すること

事業所における放射性同位元素等の利用状況、放射線取扱従事者数又は利用者数を説明し、放射線安全管理業務等に携わった年数及び事業所での安全管理に関する詳細な業績を記載する。

例として、「長年に亘って法令を遵守した管理を行い、トラブル発生防止に努めた。また、安全かつ効率よく放射性同位元素等を利用するために安全管理システムを構築した。」等のことを詳細に記載する。

### 2. 安全管理教育に関すること

事業所内外における放射線安全管理に関する知識の普及活動、安全管理技術の確立のための教育についての詳細な実績を記載する。

例として、「事業所内における教育訓練の講師を務め、安全管理技術の伝承に努めた。さらに、事業所外においても近隣住民への放射線安全管理に関する講演会を行い、知識の普及活動を行った。」等のことを詳細に記載する。

### 3. 安全管理の著書及び論文に関すること

放射線安全管理について執筆した出版物や学会等に発表した論文名を記載する。必要に応じて出版物等の内容を簡潔に記載する。

### 4. その他

その他、放射線安全管理に係る国、学会等の委員会活動、放射線安全管理に係る調査・研究等に関する実績について記載する。

※功績については、実績がわかる資料や新聞記事、事業所の放射線障害予防規程等を別添として添付して下さい。

本記載例及び放射線安全管理功労・環境放射能対策功労表彰顕彰要綱は、  
下記ホームページからもご覧になれます。

公益財団法人原子力安全技術センター ホームページ  
<https://www.nustec.or.jp/>